

こころ21だより

NPO法人 心豊かな家庭環境をつくる広島21

発行責任者／理事長 岸房康行

会報 第45号

2020年(令和2年)12月25日発行

事務局

〒730-0856

広島市中区河原町7-2 徒然社内

TEL 082-292-4507(金子)

FAX 082-292-4508

E-mail: kokoro21@tsure20.co.jp

こころ21

検索



理事会開催報告

と き：2010年10月27日(火) 18時

ところ：袋町市民交流プラザ

出席：金子敏郎、岸房康行、木時寿子、窪田晴美、高木一之、坪井宏、野坂忠守、濱口豊彦、藤本黎時、森保洋之(事務局新メンバー：野口喜三子、山岡道子)

今後も、心豊かになれる活動を!!

昨年来、今後の会の運営について意見を出し合うようになりました。私たちの会の会員も徐々に減少し、若い会員の入会があまり望めない状況にあります。特に事務局内においても高齢化が進み、現在の職務の継続が難しいとされる方も出てきました。

この状況を受けて、昨年9月、今後どういう形での活動ができるかを理事懇談会を開催し、意見交換しました。その時の意見としては「現段階で活動の所期の目標を達成し、役目が終わったと見なすことはできないが、若い後継者が望めない現状では、活動を継続することが早晩困難になることが予想される。また、会員の高齢化と後継者難である現状から、NPO活動の終了もやむを得ない段階に来たと考えられる。そこで、2年後をめどにソフトランディング(軟着陸)の準備をし、NPOこころ21の活動を終了することとしてはどうか。」などがありました。

それを受けて事務局でも対応を検討、岸房理事長

と金子事務局長は続ける方向での話し合いを重ね、今後についての提案を発表しました。

提案内容の骨子は、「今後も継続していこう。継続にあたってはこれまでの良い部分は継続し、諸問題を改善しつつ進めていこう」というものでした。具体的対応の一つとしては理事の人数の下限を下げることや認定NPO法人化に向けて取り組むなどが提案されました。

こうしたことを受けて、今回、臨時理事会を開催しました。

今回の理事会では、「できるレベルでやればいい」、「会員の人数は問題ではない」などの意見が出されました。全体的には、岸房理事長・金子事務局長提案の継続の方向を支持する意見が大勢を占めることで閉会しました。

※現在、事務局に新たにメンバーとして野口喜三子さんと山岡道子さんが参加しています。

当NPO法人の今後につきましては役員の方にはいろいろとご心配をおかけしましたが、新型コロナウイルスの終息の見通しがたてば活動を継続することは十分可能であると判断し提案しました。

皆さまには引き続きご支援ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

理事長 岸房 康行

ウイズ コロナの時代にどう対応するか

新型コロナウイルスの感染拡大で、私たちの日常生活は大きく変化しました。3密（密閉、密集、密接）を避け、新しい生活様式が求められる中で、現実と向き合い、どのように活動を続けていくか。長期化する厳しい時代を乗り切るための方策は何か。国の対策とそれに対する現場の対応など4、人の皆さんに寄稿していただきました。

新型コロナウイルス感染症とともに

いでした内科・神経内科クリニック 院長 井手下 久登



新型コロナウイルス感染症（以下コロナ）により、医療機関はどこも厳しい経営状況が続いています。

患者さんが過剰に受診を控える傾向が続いてい

るため、診療報酬、患者数ともに、以前の7～8割というのが普通になりました。さらに、医療用手袋や防護服なども値上がりし、すぐに手に入りにくい状態が続いています。その上、感染症対策として、発熱外来をつくったり、オンライン面会やオンライン診療をするための、整備コストも負担になっています。

当クリニックも3月から収入、患者数とも、15%低下し、赤字となりました。幸いにも昨年新規事業を開始しており、来年は黒字になる見込みです。

日本の医療機関のスタッフは、不安の中で、命を懸けて一生懸命働いています。政策を決める政府は、医療現場の現状をしっかりと把握して、具体的な対策を決定すべきだと思いますが、残念ながら、経済政策と感染防止という二律背反する課題に対して、現場の要望にマッチした的確な対策が打てていないのが現状です。

今年の冬は、コロナとインフルエンザの同時流行が懸念されており、もし発熱の患者さんが殺到するようなことが起きれば、医療現場は、大きな負担を強い

れ、パニックになります。そうならないために、政府はコロナ感染対策と発熱などの症状に対する診療の基準を決め、運用をしていただきたいと思います。

患者さんにとって良かったことは、オンライン診療ができるようになったことです。病院に行かなくても、診療を受け、薬をもらえ、支払いはクレジット支払いで済むようになり、大変便利になりました。

コロナを「災難」か「改革の契機」ととらえるかで、未来が大きく変わってきます。松下幸之助さんは「好況よし、不況さらによし。不況は生まれ変わるチャンス。困難から革新が生まれ、革新から、飛躍が生まれる」といっておられます。

治療薬とワクチンの開発はまだ時間がかかり、コロナの完全な克服は、難しいといわれていますが、これからはウイルスと上手に付き合い、治療薬やワクチンに加え、愛、感謝、謙虚、寛容など、心の発達が必要だと思います。

いでしたクリニックは職員が「ワンチーム」として、力を合わせて、患者満足度を上げていけば危機を必ず乗り越えることができると確信しています。

(NPO法人こころ21 法人会員)



エリザベト音楽大学の取り組み

エリザベト音楽大学 教授 壬生 千恵子

エリザベト音楽大学では、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、感染の初期からいち早くさまざまな対策を講じてまいりました。広島という恵まれた土地柄もありますが、「教育の質を落とさないこと」を第一に、大学全体が一丸となって取り組み、最も早い時期に対面授業を再開した音楽大学のひとつとなりました。おかげさまで、文部科学省より「私立大学おける新型コロナ対策の好事例①」に選ばれ、文部科学省のHPで紹介されています。

メディアにも取り上げていただいた「エリザベト・パーティーション」は、NPO法人こころ21さんとの協

力事業<こども夢コンサート>でおなじみのバリトン歌手、折河宏治先生がレッスンのために発案、手作りされたものを、本学の川野学長が取りあげ、時をおかずに製品化へと導かれたものです。その後、関西や東京の音楽大学でも採用され、地元産業への貢献にもつながりました。秋には定演に備え、学内にAIサーマルカメラが設置されています。



学生への支援も複層的に整備されました。家賃補助、アルバイト代減収補助、対面授業再開準備支援金など経済的支援のほか、学生が安心して大学生活をすごせるよう、単科大学ならではの細やかな配慮がなされています。インフルエンザ予防接種の機会も無償で提供されています。

町の中心部にありながら、奇跡的に現在（12月20日）まで一人の罹患者（りかんしゃ）も出さずにこられたことで、新入生も卒業年次生も、それぞれが自分の道に向かって日々まい進しています。

社会はまだまだ不安定で、これから寒い季節がやってきますが、皆さまのご協力を得ながらより良い音楽教育の環境づくりが続けられるよう、尽力してまいります。


(NPO法人こころ21 法人会員)

エリザベト音楽大学（広島県）

実技科目も工夫して、対面で実施

○飛沫を防ぐパーティーションによる、対面レッスン再開（6/1～）

- ・実技レッスンにおいて、飛沫防止用のパーティーションを導入
- ・高さ2メートルのパーティーションの正面部分には透明なフィルムが張られ、学生の演奏技術や音を指導者が直接確認
- ・オンラインでは、音の強弱、音質や音色など微妙な音の違いを正確に聞き分けることが難しいことから生み出された工夫

学生からの風景  先生からの風景 

○音楽大学ならではの工夫

- ・全学生に対して、携帯用アルコールジェル、合唱用マスクを配布
- ・ピアノ鍵盤用拭取りクロスを、学内全てのピアノに備付
- ・理論系科目では、オンライン授業の活用や、ホール等の広い教室を活用して対面授業を実施
- ・実技系科目も、オンラインレッスンを活用してできる限り実施

オンラインレッスン 

※文部科学省において、大学の取組内容聞き取りの上作成。

変化してきた業務

株式会社玉屋 代表取締役 児玉 賢司

私どもの業種は葬祭業で、人間には必ず生老病死があり、死は不可避な自然現象なので、コロナ禍においてもほとんど影響がないだろうとコロナ発生時

には思っていました。

それがふたを開けてみてびっくりで、売上が前年対比20～30%減となっていて、全国の葬儀業者において

も倒産した会社が数社あり深刻さは増すばかりです。

ではなぜ必ず訪れる「死」に関連する葬儀まで影響したのでしょうか。

それは密を避けての葬儀があります。家族葬が多くなってきていましたが、通常30から40人の家族葬が、席の間隔をあけることによって10から20人と半減せざるを得なくなりました。

次に自粛期間中に県境をまたぐ移動は自粛するよう要請が出て、たとえ家族であっても東京、大阪などに住んでいる場合、帰広できず葬儀に参列できないこととなり、より一層の参列者減少をもたらしました。

人数の減少ならまだいい方で、葬儀は密になるからと言って葬儀をしなくて火葬のみの直葬を選択された方も少なくありません。感染症対策は実施しておりますので葬儀はされたらいかがですかと提案しましたが、何かあったら困るという気持ちが強いのだらうと思います。

社葬を希望された方も何件かありましたが、この時期は大人数の葬儀は避けたいのと、終息時期が見えない状況では密葬してお別れの会の見通しも立たないことから、家族葬だけで済まされました。

このようにコロナ禍において葬儀の依頼数は例年

とほぼ変わらないにしても、葬儀規模の縮小化に伴い売上の減少が顕著となりました。

ただ私どもが懸念するのは、コロナ後も葬儀をしない直葬が定着した

り、規模の縮小した葬儀が増えるのではないかとということです。それは葬儀業者の経済的基盤を揺るがすものとなりかねません。

それと、葬儀は人生において最初で最後の大切な儀式であり、葬儀に対する意識が軽視されないかということです。

葬儀は儀式をすることによって、故人の在りし日をしるのび、精神的なお別れの区切りをつけ、人間には終わりがあるのだということの無常観を、死をもって教えていただける儀式でもあります。

コロナ禍の葬儀は、なぜ葬儀をするのか、しなければならぬのか、人は何のために生きているのかなどを考えさせられる機会となりました。

(NPO法人こころ21 法人会員)



企業活動と補助金など

株式会社徒然社 代表取締役社長 金子 敏郎

今年も終わろうとしている12月、年初に始まったコロナウイルス騒動は終息のめどがたつどころか勢力を増してきている今日このごろです。

さて、私の会社、株式会社徒然社もこれにより影響をもちろん受けています。今回はその現状を紹介します。

1. 人が集まり過ぎて仕事が減る

わが社は広告・印刷を業としています。4月下旬ごろいろいろなイベントが中止になり、とにか

く人が集まるのが悪いという状況でした。

得意先の一つにスーパーがあり、そこのチラシ作成をしています。大手のスーパーやデパートが休業したりするため、生鮮食料品を扱うスーパーには人が集まるようになりました。私たちはいつもいかに多くの人に来店いただくかに知恵を絞っているわけですが、5月には得意先の担当者から、人が集まりすぎるからしばらくチラシは作成しないと告げられました。得意先には、「たくさ

んの来客でよかったですね〜」といいつつ、自分たちの仕事はなくなってしまいました。

おかげで、5月は前年対比売り上げが半減です。しかし、これで、持続化給付金の支給対象となったことは幸いでした。また、幸いに6月からは従前どおりチラシ作成は復活し会社としてはやれやれという状況です。

2. 売り上げ減少企業に対して家賃支援給付金

6カ月分の家賃を軽減する給付金を受けられる。

3. イベント中止で売り上げ減少

これはどこも一緒に業界としては苦労しています。一つのイベントで、告知ポスター、告知新聞広告、チラシやプログラム作成、入場チケットなどなど全部なくなります。普通の会社は電通のように行政と結びつくこと、あの利幅を獲得することはできません。

4. 国からの補助金支給—私の利用法

・個人に対しての10万円については、私の周辺の焼肉店の売り上げが下がり3家族分の焼肉セットを購入、バナナをまとめ買い、近場での宿泊

などに有効に使いました。宿泊は宮島だったので、廿日市市と広島県の補助金は利用できたのですが、国のGO TO トラ



ベルの補助金は利用日と清算日が長く気がついたら、期限が過ぎていました。

・ゴルフプレーで1泊1プレーを6,700円、商品クーポン券3,000円支給、実質3,700円。また、東広島のホテルで1泊、白竜湖CCと東広島CCで2ラウンドして9,000円、商品クーポン券5,000円支給で実質4,000円というものもあります。ただし、クーポン券は当日と翌日で使い切らなくてはならないため無駄遣いの気分になりました。

こうした、補助金を使っている今はいいけれど、今後どうやって帳尻を合わせていくのかを考えると人ごととは思えず心配です。

(NPO法人こころ21事務局長・法人会員)

子どものための音楽プロジェクト

今年度は『ビデオによる音楽プレゼント』で対応

新型コロナウイルス感染対策のため、今年度開催を予定していたこども夢コンサート事業(企画・協力:エリザベト音楽大学)5会場、子ども音楽体験教室(同広島文化学園大学)4会場がすべて中止となりました。

現地に出向いて、生の演奏を子どもたちに提供し音楽の素晴らしさ、楽しさを共有してもらおうコンサートを開催するというのがNPO

こころ21の目的です。

残念ながら、今年度は本来の形で実施することができませんが、音楽の楽しさを実感してもらおうため、NPOこころ21と大学とで相談し、両大学の指導教員・学生がコンサート形式で実施したプログラムをビデオ動画で制作して、年度末までに各園に提供しようと計画しています。

山岡 道子・水辺のコンサート

(新入会員)



11月22日、平和記念公園の原爆ドーム対岸で開催された「水辺のコンサート」に木管五重奏の演奏で参加しました。2年前に初参加し今回で3回目です。メンバーは中・高校時代に吹奏楽経験のある平均年齢66歳の5人。未熟ながらハーモニーを奏でる喜びを共にしたいと10年前に仲間に入れてもらいました。数年前からは介



護施設でのボランティア演奏も行い、聴いてくださる方と一緒に笑顔になれる音楽の素晴らしさに目覚めています。「水辺のコンサート」では通りすがりの親子や多くの外国人の方も足をとめて聴いてくださり、音楽は世界の共通語だとしみじみと感じています。

だれもが音楽を楽しめる平和な世界でありますようにと心から願っています。

末永 雅子・レクチャーコンサート

こども音楽体験教室でお世話になっている、広島文化学園大学の末永雅子教授 (NPO会員) のレクチャーコンサートが開催されます。クラシックの名曲の数々をお楽しみください。

新型コロナの感染拡大で1月3日まで、会場が臨時休館となっています。臨時休館の期間が延長される場合がありますので、お出かけの際は必ず下記電話番号へお問い合わせください。

- ・日 時 / 2021年1月14日(木) 午後2時
- ・場 所 / 東区民文化センターホール(東区東蟹屋町10-31 ☎082-264-5551)
- ・料 金 / 前売り1,000円(電話予約) 当日1,500円
- ・曲 目 / 愛のあいさつ、子守歌(ブラームス)、別れの曲、トロイメライなど



新年会中止のお知らせ

毎年1月に開催している新年会は、新型コロナウイルス感染拡大のため、今年は中止します。

編集後記

- ◆私たちの事務局の会議はいつも袋町の人待ちプラザで開催しています。コロナ禍の最近では写真のように出席者全員マスク着用です。事務局員の素の写真を早くお見せしたいものです。
- ◆今年もあとわずかになっています。今年の流行語大賞は「三密」、清水寺の漢字一文字は「密」と発表はありましたが、他にも、こんな言葉を頻繁に聞いた気がします。



「誠意を持って対応します」、「真摯に対応します」、「誤解があったら陳謝いたします」、「検察の捜査中なので回答は控えさせていただきます」、「〜と承知している」などなど。

さて検察の捜査中であろうとなかろうと真実を誠実に答えるのであれば、どこの場でもできるじゃないか。場を変えて、言葉を変えようとするからそんな発言になるのでしょうか。また、「承知している」は発言している人は納得できていないが聞いてはいると理解できる。後々責任を問われた時には逃げるためじゃないか、よく確認後、納得してから発表してよ。

常識とか正義とは何か?これは不偏なものかと思うが、為政者においては一般国民とは違っているようです。

桜を見る会で安倍元首相が不起訴処分が終わるかもと言われていますが、「悪いことをして、バレたらゴメンで済めば警察はいらん」、子どもの頃からよく言ったもんだ。これじゃ、詐欺罪はなくなりそう。

(金子 敏郎)